

今、いちばん観て欲しい映画。

働くことは生きること。

チョコレートと、さまざまな人々の凸凹な物語。



令和5年度名東区障がい啓発イベント

— 東海テレビドキュメンタリー劇場第14弾 —

チョコレートな人々

2021年日本民間放送連盟賞テレビ部門グランプリ受賞

令和5年 **12月13日** **水** 10:00~12:30

開場 9:30 より

上映後、鈴木祐司監督のトークセッション開催

【バリアフリー日本語字幕付き】 【UDCast 対応作品】 ・詳細は裏面をご覧ください。



©東海テレビ放送

会場

名東文化小劇場

名古屋市名東区上社1丁目802 上社ターミナルビル3階

アクセス：地下鉄上社駅1番出口すぐ

参加費無料

事前申込不要

(当日先着 300名)



“人生はチョコレート”の箱のようなもの。開けてみなくちゃわからない”
 これは、映画『フォレスト・ガンプ／一期一会』の名台詞。
 “こちらは、漫画『ピーナッツ』のちよっと意地悪な女の子、ルーシーの言葉。
 “本当に必要なのは愛だけど、たまにはチョコも悪くない”
 この映画は、人生とチョコレートにまつわる、
 甘くて、苦くて、カラフルなドキュメンタリーです。

「温めれば、何度だって、やり直せる」夢のような力 私たちのチョコレート工場へようこそ！

愛知県豊橋市の街角にある「久遠チョコレート」。世界各地のカカオと、生産者の顔が見えるこだわりのフレーバー。品のよい甘さと彩り豊かなデザインで、たちまち多くのファンができました。その人気は日本中に広がり、いまではショップやラボなど全国に52の拠点をもち、華やかなデパートのイベントの常連になっています。「久遠チョコレート」は、ほかのブランドとは一味違って。代表の夏目浩次さんたちスタッフは、かれらが作るチョコレートのように、考え方がユニークでカラフル。心や体に障がいがある人、シングルペアレントや不登校経験者、セクシュアルマイノリティなど多様な人たちが働きやすく、しっかり稼ぐことができる職場づくりを続けてきました。

はじめは2003年、26歳の夏目さんが3人のスタッフとはじめた小さなパン屋さん。その後、いくつもの事業を展開してきた夏目さんですが、トップショコラティエの野口和男さんとの出会いが大きな転機になります。「チョコレートは失敗しても温めれば、作り直すことができる」。しかもチョコレートはアイデア次第で付加価値が高まる魔法の食材。多様な人々を受け入れる夢の扉が見えました。こうして、新しく優しいチョコレートブランドの凸凹な物語がはじまりました。

『人生フルーツ』の 東海テレビドキュメンタリー劇場最新作 2021年日本民間放送連盟賞テレビ部門 グランプリ受賞作がついに映画化!!

福祉と経済、生きがいと生産性、さまざまな人と共に働くよこびと、その難しさ……理想を追い求めるチョコレートブランドの山あり谷あり、きれいなだけじゃない19年を描く、東海テレビドキュメンタリー劇場第14弾。どうぞご期待ください。



www.tokaidoc.com/choco

[@tokaidocmovie](https://twitter.com/tokaidocmovie)

[fb.com/tokaidoc.movie](https://www.facebook.com/tokaidoc.movie)



©東海テレビ放送

UDCast 対応作品

スマートフォンに UDCast アプリをダウンロードし会場にお持ちいただければ音声ガイドがご利用いただけます。(スマートフォンとイヤホンは各自でご準備下さい) ご利用方法、アプリのダウンロードは右側の QR コードからアクセスしてください。



主 催



つながる、
ここにある、
みんなのまち。

名東区自立支援連絡協議会

お問い合わせ先

名東区障害者基幹相談支援センター TEL(052)739-7524/FAX(052)739-5330